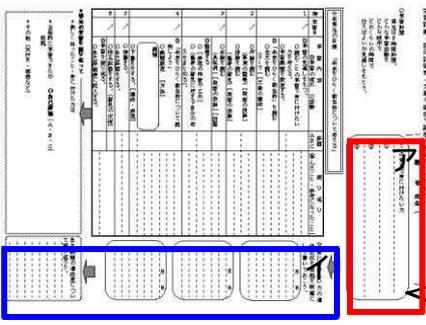
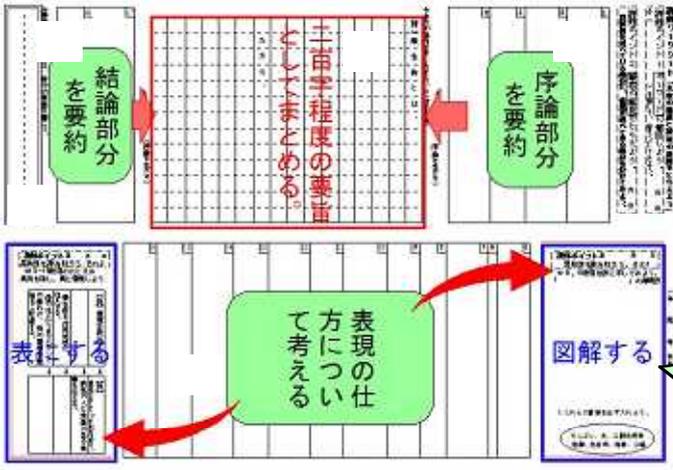


指導の実際 2 「授業展開案 2」 「文章の構成や論理の展開をとらえよう」

言語活動... 「文章と図表などとの関係を考えながら、説明や記録の文章を読む」

1 具体的な指導のアイデア
それぞれの過程で特に有効だった手立てについて詳細を説明しています。

過程	指導のアイデア - 手順、気付き、資料と資料活用上の留意点等 - 	
見通しをもつ	<p>学習計画・自己評価表の利用</p>	<p>単元に入る直前に事前アンケートを実施する。学習計画表を配布して、単元の目標と学習内容を確認させる。自分の書いたアンケートの内容を基に、各自で単元で身に付けたい力を考えさせ、学習計画・自己評価表に書き込ませる。各自が設定した、単元で身に付けたい力は、身に付けたと感じた時点でその達成状況を記入していくように指示する。</p>  <p>生徒自身が主体的に単元の学習に取り組むことができるよう、自分なりの学習課題をもって授業に臨ませました。アンケートの項目を参考にして課題を設定するので、単元のねらいにつながる学習課題を設定することができていました。</p> <p>アの部分に単元で身に付けたい力を生徒自身で記入させ、イの部分にその達成状況を記入させました。生徒にその時間ごとの授業のねらいを把握させておくことが大切です。</p>
	<p>スモールステップによる学習活動</p>	<p>文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読む言語活動の中の文章の読み取りの部分のスモールステップによる学習活動で行った。</p> <p>全体の構成をとらえさせる。(序論・本論・結論に分ける。) 序論部分と結論部分を要約させる。 要約したものを合わせて、筆者の意見としてまとめさせる。 筆者の意見に対する自分の考えを書かせる。 本論部分の内容を大まかに読み取り、表現の特徴をとらえさせる。</p> <p>全文ワークシートで構成をとらえる。</p>  <p>ワークシートの構成を生徒の活動流れに合わせることで、活動の見通しを理解させるのが容易になりました。前時の学習でとらえさせた全体の構成をより明確に把握させるのに、構造を示した読解ワークシートは有効でした。</p> <p>図解や表にまとめる方法は、黒板を使って(板書例参照)全体で確認をしました。その後、各自で活動をさせましたが、周囲の友達と意見の交流をさせると、活動がスムーズに進んでいきました。</p>  <p>生徒のワークシート</p>  <p>生徒のワークシート</p>

身に付ける
習得
活用

具体的なモデルの提示

「未来をひらく微生物」の本論の内容を図解する際に、具体的なモデルの提示を行った。
 図解する方法を全体で確認させる。
 本論の内容を読み取り、キーワードを利用して図にさせる。
 教科書の図と自分の図を見比べて評価させる。



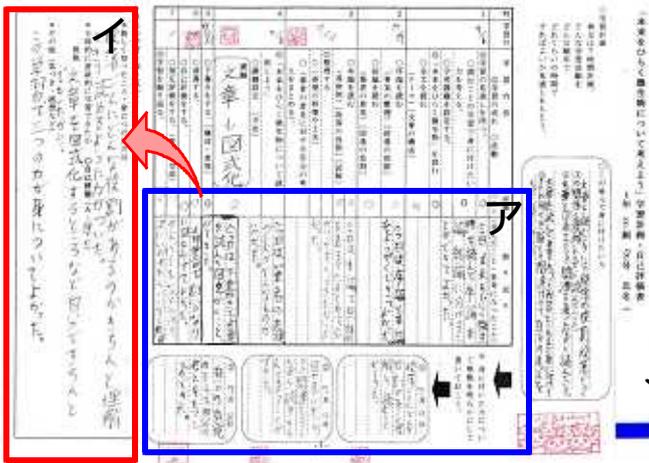
読解ワークシートを利用して、教科書は見せずに図解をさせました。教科書の図で答え合わせをすることで、生徒はクイズを解くように楽しんで活動することができていました。

モデルを示すことで、生徒は、分かりやすい図とはどのようなものなのか、文章を図解するときの留意点は何か、具体的に把握することができていました。

学習計画・自己評価表を利用した振り返り

学習計画表を見て学習内容を振り返り、この単元で新しく知ったことや身に付いた力について自分の言葉でかせる。
 自分なりに見通しをもって学習できたかを振り返り、根拠を示して自己評価をさせる。
 単元を通して気付いたことや思ったことを、文章で書かせる。

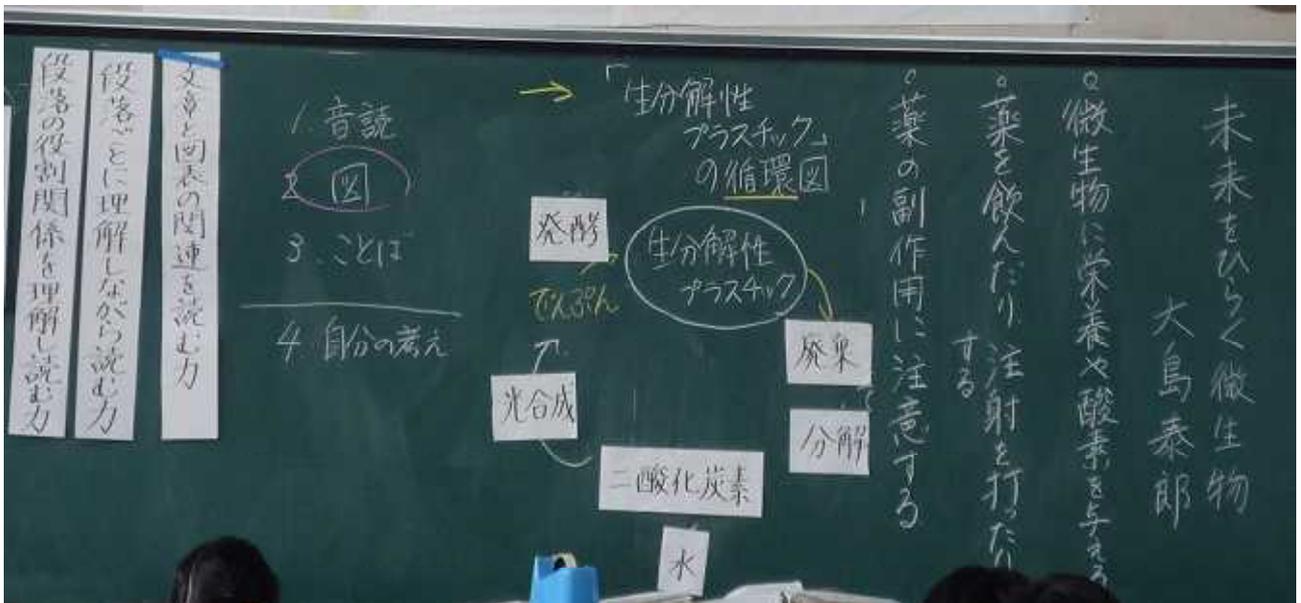
振り返る



毎時間の振り返りを、どのような知識・技能を身に付けるための活動なのか意識させて書かせておくと、身に付けた知識・技能について、生徒は具体的に反省を書くことができるようになります。

アの部分に書いた反省を基にして、理由を明らかにして、イの部分に反省を書かせました。文章を書くことが苦手な生徒でも、具体的な反省を書くことができていました。

板書例 (3 / 6 時の板書)

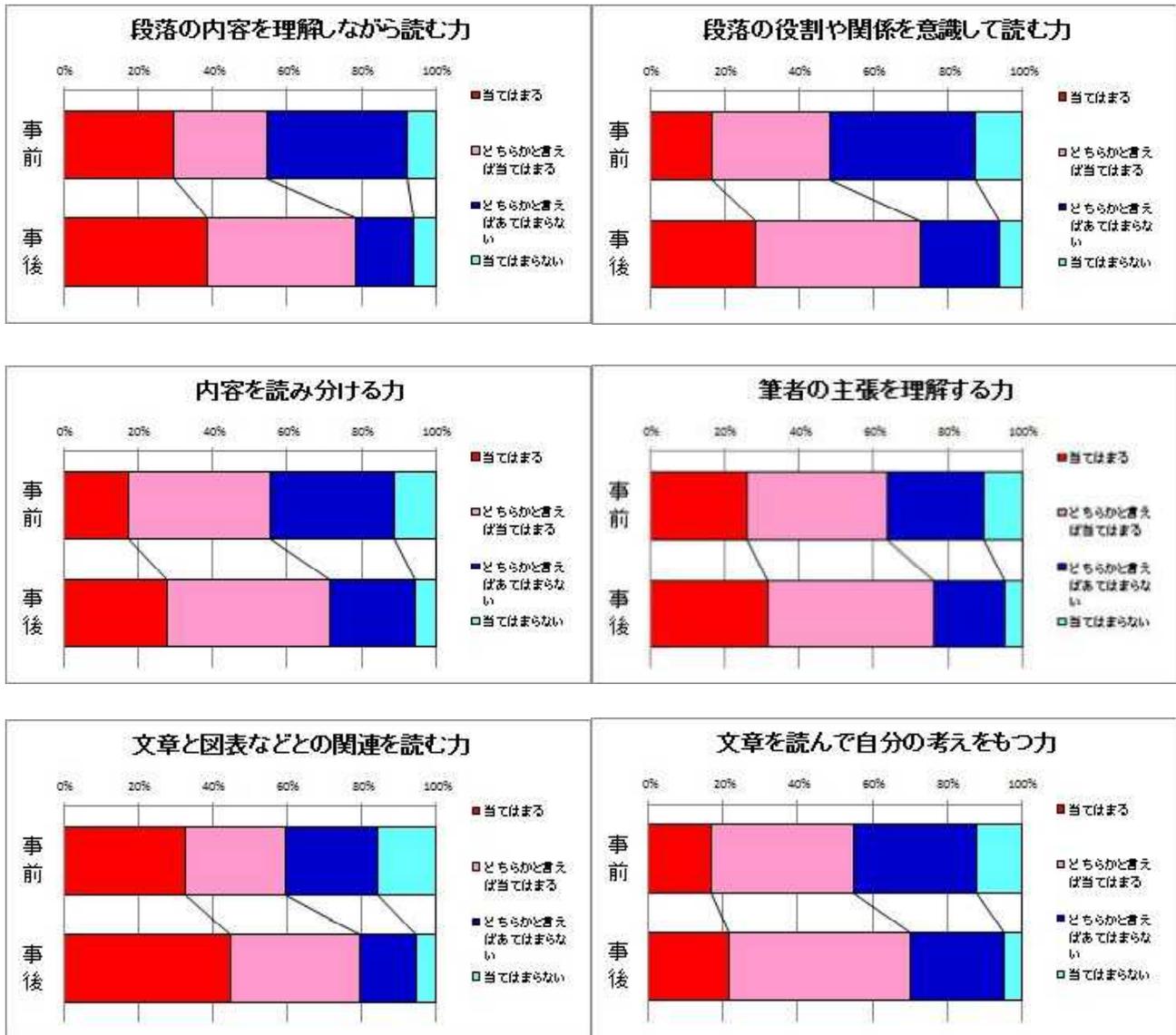


2 生徒の変容

1 アンケート結果より

- 実際のアンケートでは、新学習指導要領の指導事項を基に、10項目でアンケートを実施しました。本単元では、「目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりする力を付ける」「文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつ力を付ける。」というねらいを達成するために、書くことの指導事項「文章の解釈」、指導事項「自分の考えの形成」に指導の重点を置いています。そこで、その指導事項にかかわるアンケート項目の割合を増やして作成しました。
- すべての項目で、事前よりも事後の方が「～することができる(分かる)」と答える生徒の割合が増えました。本単元のねらいにつながる項目についての変容は以下のとおりです。
 (上のグラフが事前、下のグラフが事後のアンケートの集計結果を示しています。)

〔アンケートの集計結果〕



〔考察〕

- アンケート結果から、段落の役割や関係を意識して読む力や文章と図表などとの関連を読み取る力、文章を読んで自分の考えをもつ力等、単元のねらいにつながる項目において、意識化できた生徒がかなりの割合で増えたことが分かります。本単元の学習を通して、文章の内容や表現の特徴に注意して文章を読み、文章と図表などとの関連を考えながら説明や記録の文章を読むために必要な知識・技能を、生徒が習得したことがうかがえます。
- ここに示した項目以外では、特に読書とそこから得た情報を活用する力が身に付いたと多くの生徒が意識していました。単元の学習を通して身に付けた力が、読書への関心につながっていることをつかがわせる結果だと言えます。

- 2 生徒の感想より（抜粋）
- ・ 身に付けたい力など、最初に目標を立てて、克服できた時の達成感がとても大きくて楽しく活動ができた。
 - ・ 以前より、筆者の考えや言いたいことがまとめられるようになったと思う。
 - ・ 筆者の意見と事実の部分が読み分けられるようになった。
 - ・ 今まで分からなかった文の構成や要約の仕方などを知ることができた。他の文章を読むときに使いたいと思う。
 - ・ 図やイラストなどの大切さが分かった。意味段落ごとに分ける力が付いたと思う。
 - ・ 友達と意見を交流して、自分の考えと比べることでもっとよい考えが浮かぶということに気付いた。
 - ・ 授業で身に付いたことを、その日のうちに本を読んで実践してみた。

3 生徒作品より

国語科ワークシート

一年（B）組（23）号

7月15日

生徒作品はWebでも紹介しています。

この生徒は、提示された「しょうゆの作り方」についての図解から、「種麹」「麹」「もろみ」などのキーワードを抜き出し、図解された関係性に合うように文章化することができています。

この生徒は、与えられた「しょうゆの作り方」を説明した文章から、「種麹」「麹」「もろみ」などのキーワードを抜き出し、文章で示された関係性に合うように図解することができています。

3 指導者の考察

- ・ 文章を要約したり、図式化したりすることで読みを深めることはできるようになった。また、文章の構成や展開、表現の特徴を知識として確認することはできたと思う。しかし、それに対する自分の考えをもつところまでには至っていない生徒が多い。今回学んだ、視点や考えの示し方を生かすことができるよう、継続した指導が必要である。
- ・ 全般的に生徒は意欲をもって活動に取り組んでいた。特に、図式化したり文章化したりする活動については、既習事項を使って、教科書以外の教材を学習するという内容が、生徒自身にとって主体的な学習ととらえることができているようである。
- ・ 身に付けた知識・技能を活用する活動を行ってから、生徒の様子が大きく変わったように思われる。読解ワークシートまでは受け身の授業態度だったが、図に示そうとするとときに循環図の学習が使えたり、文章化するときに接続語の学習が使えたりするなど、既習の学習が生きていることが嬉しかったようである。
- ・ 「1年生の説明的な文章の学習のまとめ」という位置付けで本単元をとらえることで、学習内容のつながりを意識させた。系統性を生徒にも意識させるのに有効だった。
- ・ 別の説明的な文章との読み比べを行う単元を構成し、読み広げていくことをねらうこともできる。また、リーフレットやフリップ作成を言語活動として位置付けて、「読むこと」や「話すこと・聞くこと」との関連指導として単元を構成することも可能である。